

ごまめのはぎしり(ごまめの歯軋り)シリーズNo.5

ごまめのぎもん(ごまめの疑問)

…力のないものが、どんなにがんばってもどうにもならないこと

出典:ことわざ◆諺◆百科…<http://www.ymknu200719.com/kotowaza/koto-ko-0032.html>

この『ごまめのはぎしり』は著作権フリーですので、どなたが複製しても著作権法には抵触致しません。…発行者:長谷川眞吾(銚子市榎町3895-2)

「銚子市立病院の運営と医療公社の設立について」の検証

でたらめな「銚子市立病院の方向性を検討する委員会」答申を元に作成されたプラン

P1 厚生労働省は、人口構成の変化を基に、2025年(H37)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。しかし、介護保険制度のお粗末を見てもお解り頂けるように、軽々に、そして短期間に実施できるものではありません。

また、医療法の改正は、第1次(S60)・第2次(H04)・第3次(H10)・第4次(H12)・第5次(H18)と既に5回の改正を行っております。H26の改正は第6次と言うことだと思われそうですが、このように厚生労働省自体が、明確な指針を打ち出せないでいる訳です。…新制度に飛びつく危険性を果たして財政状況が厳しいとされている銚子市で行うべきなのでしょうか?…何らかの成果・結論を出さなければならぬとする越川信一市長とその周辺の方々の悪足掻きに思えて仕方ありません。

しばしば、総合病院 国保旭中央病院との連携を前提とした話が出て参りますが、同病院自体が、週刊ダイヤモンド等によりますと、決して恵まれた状況にはない様に記載されております。まして、銚子市側の思うように、旭市側が全面的に了解・了承下さっているとはとても思えません。…現在でも旭市住民以外の受診者には付加金及び受入制限等も採られていると聞き及んでおります。

加瀬庫蔵市議会議員が愛知県東栄町の東栄町国民健康保険東栄病院(社会医療法人財団 せせらぎ会)を訪れ、原田典和現参与を当初は行政アドバイザーとして、更に面識のある富田一栄参与(当初は行政アドバイザーとして)が徳島県つるぎ町立半田病院との関わり合いから、三村経夫参与(当初は行政アドバイザーとして)を引き入れた形です。…おいしい話がありますので、来銚子このようにして、加瀬庫蔵市議会議員のリモンである越川信一市長は、「銚子市立病院の方向性を検討する委員会」のために、銚子市議会12月定例会(H25/11/28~)が予定されているにも関わらず、3183.3万円の専決処分を強行しました。(この内2341.5万円(2184万円…浦安市(株)ティケル)

加瀬庫蔵市議会議員・宮内和宏市議会議員・越川信一市長にとっては、天敵である野平匡邦元市長の作り上げた銚子市立病院をなんとしても潰したい、潰れなければ形態変更させようと言うことなのかもしれません。…後ろで手を引く者も見え隠れしています。

P2 本市の各世代の男女とも高血圧症やその予備軍の割合が高い…これまでの銚子市の保健福祉行政が、失敗していたことに他ならないのに、それには全く触れようとしておりません。

会員数40人の銚子市医師会ですが、休日当番医にそのうち何人が参加してくれているのか? 確か半数程度の筈です。にもかかわらず、市内民間病院や開業医と市立病院が連携して、輪番制など24時間の救急医療体制を整える必要があります。…何の取り付けも行わないまま、三者三様の思惑がある事を放置したままでは、現状維持が目一杯というのが実情でしょう。…惰眠をむさぼっている輩に、医療現場は理解できないのではないのでしょうか?

「総合医の養成」「地域連携」、響きは非常によいのですが、臨床医の不足している状況、未調整の地域連携をあたかも既に構築されているような錯覚を起こさせ、当然過剰な期待をさせています。

現在の銚子市立病院に必要なことについても、過去の銚子市立病院に欠けていた点についても、当事者である銚子市立病院関係者に、公的な発言の機会を与えないままあたかも欠席裁判のような手法による発表は、民主主義社会の手法からは遠く離れ、過去の独裁国を思い起こさせるには充分でしょう。

よいとこ取りの越川信一市長の常套手段で、あたかもご自身の判断では無く、ご自身の作成した答申案を丸呑みにさせた、**委員会の答申を引用して、やがて、うまくいかない時には、**委員会の責任とし、うまくいったらご自身の手柄という筋書きのようです。…煮ても焼いても食えないとはこのことでしょう。

P3

答申を踏まえた方針の疑問

指定管理者銚子市立病院再生機構の契約期間が、5年間であるのに、全く未知数の医療公社がなぜ10年契約であるのでしょうか?

(仮称)一般財団法人 銚子市医療公社…出資者はどなたになるのでしょうか?赤字になった場合どのように補填するのでしょうか?市の健全なガバナンスとはどのようなものなのでしょうか?…現在の市議会は越川信一市長及び市民のガバナンスとはかけ離れたものですが、銚子市立病院に対しては行えるのでしょうか?様々な役職を作ることは、とりもなおさず、人件費等の上昇がある訳ですが、果たして、予定通りに機能するのでしょうか?公益認定の保証は本当にあるのでしょうか?

わずか6回の銚子市立病院の方向性を検討する委員会のそれも第5回では独立行政法人をあたかも最も優れているような発言であった参与も居りました。それが、第6回には医療公社にすり替わりました。テタラム・思いつきに振り回されれば、やがて大きな負担を銚子市民は背負わねばならなくなります。

P4

医療公社(市立病院)の基本コンセプト

地域包括ケアシステムの拠点…医師会や旭中央病院、福祉事業者と話し合いながら、事業を検討していきます。…大川政武元銚子市長が打ち上げた大学構想と同じです。全く手つかずであるのに、あたかも状況が進展しているように市民を錯覚させます。

市及び医師会と連携して保険事業を展開し、検診率の向上に積極的に取り組みます。…今までの市の対応に係る反省(健康福祉部(旧民生部)健康管理課)は全くなく、設立も定かで無い地域包括支援センターがあたかも既存のような取り扱いです。…机上の空論とはこのことを言うのでしょうか。

レスパイト入院…どのような意味で取り上げているのか…或いはとらえ方を一つしか知らないのかもしれない。

医療機能の充実

医師会と協議・連携しながら夜間分担システム(輪番制)の確立を推進します。…未構築の体制をあたかも既存の体制のように取り扱っています。…平成25年04月21日の市長選挙に先立って行われた、銚子青年会議所主催による「銚子市長選挙マニフェスト型公開討論会」では、その中で政策テーマはマニフェスト型ということからも明らかのように、「公約」であった筈なのに、いつの間にか「政策提案」に変更し、多くの「公約」を反故にしました。今回もこの手法なのかもしれません。

P5

診療機能の充実(旭中央病院との役割分担・連携)

旭中央病院との経営統合…相手の意向は無視、更に経営状況が素晴らしいのならともかく、決して充分ではない総合病院 国保旭中央病院に何らかの躓きがあった場合、旭市自体が耐えられないと言われていることを考慮すると軽々に口外できることではないように思えます。

介護保険が、当初から在宅介護を基本に考えていたことは、多くの方々が承知していることですが、現実には施設介護を多くの方々が利用しております。国の方針が如何様でも、利用する国民が選択しなければ、計画は頓挫します。在宅**とはそのようなものです。

市立病院のスタッフが旭中央病院の研修に積極的に参加していくことが肝要です。…相手が受け入れてくれるという確認が取れているのでしょうか?

総合医の養成

十分な医師の確保もできていないで、「総合医」の養成…馬鹿の考え休むに似たり。

医師会との連携=「顔の見える関係」の構築

所在町内の利用者の極めて少ない大病院と越川信一市長は、スムーズな関係なのかもしれません。

医師会・病院の連携は必要ですが、かかりつけ医の現状が全く把握されていません。…診療時間以外には、全く連絡の取りようが無いかかりつけ医がほとんどではないのでしょうか?居留守を決め込む医師はいないとしても、診療所と自宅が切り離されている場合がほとんどのように思われます。…ここから先は、行政機関のお好きなプライバシーの問題にもなりましょう。

P6

人材育成システムの構築

現在でも高額すぎる人件費と言われておりますが、人材育成に係る資金の捻出方法はどのようになっているのでしょうか?

市の今後の取組

医療職は横滑りさせ、事務職は試験・面談などにより採用を判断します。…現銚子市立病院の分断を図り、不都合な事務職は退職に追い込みを計っているように思えます。要するにいいとこだけを残す手法です。果たして医師は残って下さるのでしょうか?

医療公社(指定管理者)の病院運営に対する財政支援については、国からの交付金の範囲を基本としつつ…あくまでも基本であり、タダ漏れもあり得ると言うことでしょうか?

人的投資と設備投資が不可欠。…現在でも資金不足の為に、操出金の大幅削減を行うことになっているにも関わらず、どこに財源を求めればこのようなプランが打ち出せるのでしょうか?…机上の空論と言われる前に、それなりの財源手当方法を提示すべきです。旧社会党などは、何の代替案も無いまま何でも反対していましたし、財源の必要なプランでは全くその財源手当の無いままプランを発表し続けた為、現在国会での議席は、政党としての構成要件ギリギリ二大政党を目指していた時期より大幅減員し、存在感は全くありません。市議会には、この残党が今でも市議会議員として居座っています。

魅力有る病院環境や教育研究環境を作らなければなりません…財源の手当方法は? 優良な医師は、勤務時間が少なく、高安定収入、高好環境、好人間関係etc

医師のサポートシステムの構築を目指します。…どのように構築するかの話は全くありません。

某元市議会議員の娘は、閉鎖が決定していた旧銚子市立総合病院へ看護師として無理矢理就職し、分限免職による高額の退職金をせしめました。…ガバナンスはどうだったのでしょうか。

P7

おわりに

あたかも野平匡邦元市長時代に銚子市の病院事業が悪化したような書き方をしておりますが、「銚子市立病院の方向性を検討する委員会」答申の検証の際にも申し上げましたが**全くの嘘です**。時期としては、それ以前にもそれ以降にも多額の操出金を銚子市は病院事業(旧銚子市立総合病院時代の支出と、新銚子市立病院の支出を都合によって使い分けております。)に支出しております。

口先だけの現銚子市立病院関係者への感謝の気持ちなど全く持ち合わせているはずが無いと言うことは、3参与の言動、越川信一市長の諸対応からも明らかです。

嘘つき3参与を手引きした市議会議員は、元々『公設公営』を求めている人間です。病院経営に市が関与しながら…とは事実上『公設公営』と何ら違いが無いことは明らかです。トップの座に越川信一市長が座り、加瀬庫蔵がリモコンで操作し、経営力のある人材として3参与の一人(富田一栄税理士)そして院長に3参与の一人(三村経夫医師)となるのかもしれませんが。

「銚子市立病院の運営と医療公社の設立について」の検証後記

H26年08月20日に越川信一市長が、銚子市議会全員協議会で「銚子市立病院の運営と医療公社の設立について」と題した資料を配付しましたので、その検証をしたものです。

内容は、厚生労働省資料の引用と相手があるにもかかわらず、何もコンタクトの無いままの一方的な推測・憶測による架空・幻想の銚子市立病院を描いております。また、財源問題が、充分解決していないにもかかわらず、机上の空論の展開に終始しております。

市の今後の取組としては、職員の引継ぎ、市立病院運営にに対する財政支援、将来に対する投資、医療従事者の育成と働きやすい病院づくり、市民がバックアップする体制づくり、市の中・長期ビジョンなど、根拠の無い絵に描いた餅を展覧しています。…尤も「銚子市立病院の方向性を検討する委員会」の嘘の答申を元に作成された文書ですから、嘘の上塗りになるのは当然なのですが。

越川信一市長は、諸事項が改善傾向にある銚子市立病院(指定管理者 銚子市立病院再生機構)に対して、病院存続を危うくする急激な制度変革をなぜそれ程性急に行おうとしているのでしょうか?市民の命に直接関係する病院にかかわることであり、何かとてつもない恐ろしさを覚えるのは、私だけではない様に思います。